

おおさか

ヘルパー労組連絡会NEWS

発行：おおさかヘルパー労組連絡会事務局 大阪市北区錦町2-2 国労会館1F

介護を考える会結成総会

10月26日、旭区民センターにおいて主に旭区の介護関係者が中心となった「介護を考える会」が結成され、25名が参加しました。

準備会事務局長の松岡さんからは、「地域の仲間と交流したいとの思いから、今年3月と6月につどいを開催し、参加者からの、『交流を続けたい』『孤立してはいけない』『ヘルパーの社会的な地位を高めたい』という意見や思いに押されて、何度も話し合いここまでたどり着くことができました。今後この会の発展が、地域の小さな介護ウェブの動きを作っていくことをめざし、学習と交流を重ね、制度の充実と改善に向けて力強く存在したいと考えます。」と結成までの経過が報告されました。また、これから一年間の活動方針、介護を考える会運営規定、役員体制の提案がされ確認されました。



結成総会には、地域労連・地域の事業所・旭区生活と健康を守る会などから参加があり、メッセージも寄せられました。ある事業所からは、「事業者の一人として頑張っている。介護に従事する者の給料が少しずつでも上がっていくように、ヘルパーさんのボランティア精神にたよらないようになってほしい。そんなことを『介護を考える会』でみんな考えていきたい。」と会への思いが語られました。

結成総会には、地域労連・地域の事業所・旭区生活と健康を守る会などから参加があり、メッセージも寄せられました。ある事業所からは、「事業者の一人として頑張っている。介護に従事する者の給料が少しずつでも上がっていくように、ヘルパーさんのボランティア精神にたよらないようになってほしい。そんなことを『介護を考える会』でみんな考えていきたい。」と会への思いが語られました。

記念講演「地域崩壊ケアではなく、地域安心ケアを目指すために」

記念講演には、講師に、耳原病院鳳在宅介護支援センター・主任介護支援専門員の疋田勝さんを招き、厚生労働省が目指している「地域包括ケア」について学習しました。まず、介護保険制度ができて10年を振り返り、サービス量が増えたというよい面と、お金が払える人はいろんな介護を受けれるが、お金がないと受けれない格差が生まれていることが話されました。今後も国は、自助（自分の事は自分で）・共助（近隣の助け合いやボランティア）が中心で、本人は頑張っているも国は何も



せず、なるべく税金を使わないようにしていこうとしている中で、目の前の人にはできることは何なのか。今の介護保険制度でこぼれおちないように、切り結んでいくことが、介護の仕事であり、私たち自身が、「費用」と「責任」「社会福祉のあり方」について考え、本当の介護労働とは何なのか、本当にしたい介護は何なのかを考え、地域安心ケアを一緒に考えていきたいと話されました。

介護を考える会総会に寄せられたメッセージより

NHK の”クローズアップ現代”というテレビ番組を録画で見た。タイトルは「介護を担う家族を救え」である。年老いた親は認知症、介護のために職場を辞めた、世間とのつきあいもままならぬ、孤独を感じる、疲れた、うつになる、精神安定剤を多用する、果ては親に暴力まで…。さまざまな悲劇がクローズアップされる。低収入のため行政のサービスも受け入れられない。親も他人の世話を受けたくないといって拒否する。悲惨である。よほど経済に余裕がないかぎり家族介護はムリなのかと思わせられた。

近所に母、姉の介護で定職につけず、独身のまま半世紀という人がいる。私は 84 歳、妻ももうすぐ 80 歳になる。今のところ介護されることもすることもない。結構なことではないかと言う人がいる。そうかもしれない。相当額の介護保険料を払っているから誰かの役に立っているのだろうと思うことにしている。これから先、私か妻か、どちらかが若しも要介護者となれば老々介護になるが、近くに住んでいる息子や娘を悩ますのではなからうか。脳裏に焼きついていた“クローズアップ現代”の残像がよみがえる。

在宅介護は並大抵の苦勞ではないが、それによって精神的に支えられ学ばされることも多々あったという人の話も聞く。介護のなかに人を安らげる尊い価値を見出されているのだろう。その場合、行政や医療機関の人から「よくやっておられますね」との温かい言葉が励ましになっているそうである。家族介護にたいする正当な社会的評価が求められているようだ。伝わってくる社会の体温が力なのだろう。介護者を孤独にしてはならないと思った。

日本の介護保険制度は介護する人には適用されないのか。”クローズアップ現代”によれば、英国では介護者法を制定し、介護の実態、仕事、家計などを調べて必要な支援策をとるといふ。休息のための介護の肩代わり、介護と両立できる就労支援、介護者手当の支給などだといふ。いまや介護は一大社会問題である。行政も施設も事業所も家庭も介護を尊び、誇りをもってかわられる、そんな地域を目指して欲しいと願う。経験のない素人の空想だろうか。

地域住民より

～ヘルパー労組連絡会 11月の取り組み～

- ・ 11月8日(月) 13:30～ 大阪府交渉
15:30～ 労働局交渉
- ・ 11月11日(木) 18:00～19:00
「介護の日」宣伝行動・なんば高島屋前
- ・ 11月23日(祝) 10:00～18:00
「介護なんでも相談110番」

共同のとりくみ

- ・ 11月7日(日) 10:15～ 非正規のつどい(鶴見区民センター)
- ・ 11月19日(金) 18:30～福祉問題シンポジウム(北区民センター)

11月は、介護関係の取り組みが様々取り組まれます。参加のご協力お願いします。

